

中国人の恋愛・結婚事情

今回は、外国人をよく理解するには避けては通れないであろう話題、恋愛・結婚事情についてレポートしたいと思います。

まず驚くべきことに、中国の小中学校では、学校が生徒の恋愛を禁止しているケースがほとんどです。しかももちろん、恋愛は禁止して無くなるものではありません。こっそり付き合う人だっています。しかし、ばれたら先生に強制的に別れさせられてしまいます。中国では、「恋愛は勉強の邪魔」という考え方が根強いのです。「最近息子の成績が下がっちゃって…」「どうしたの、恋愛もしているの」といった会話を耳にしたこともあります。親は子供に、あまり早いうちから恋愛をすることを望んでいないようです。

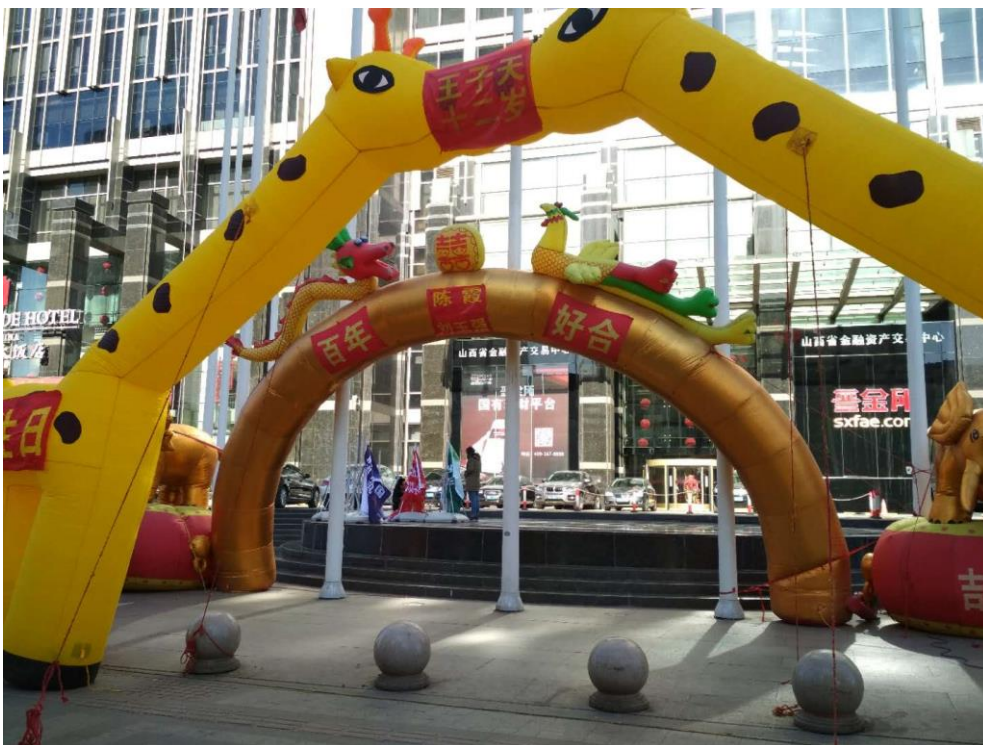
こういうことなので、大学生になってようやく公式に「恋愛解禁」となります。よく大学構内では、手をつないだり腕を組んだりして歩いているカップルや、一緒に食堂でご飯を食べたり、図書館で勉強したりしているカップルを見かけます。特に寮の門限間際や週末になると、寮の前や人通りの少ない場所でイチャイチャしているカップルが多数見られます。しかし、これには理由があって、中国の大学生は基本的に全寮制であるため、ほかにイチャつく場所がないのです。二人で一緒に学校の外に部屋を借りて、同棲するカップルもいるそうですが、やはり金銭的な問題もあり、そう多くはありません。二人きりになれる場所のないカップルは、人目を気にしてなどいられない、といったところなのでしょう。

それから、中国の男性は付き合い合った後も女性によく尽くすと言われていています。よく街では、女性のカバンやショッパーを男性が持ってあげているのをみかけますし、食事の時は、一般的に男性が女性におごるそうです（これは男性の面子を保つためであり、後で女性がきちんと半分返すこともあるとか）。また結婚の場合も、男性が女性にプロポーズする前に、あるいはしてから、車と同居する家や部屋を用意しなければなりません。これは女性にとってはありがたい話ですが、男性にとっては少々ストレスかもしれません。しかし、結婚後は男性も料理をするなど家事をよくし、育児にも比較的積極的なようです。日本人女性にとっては、少し羨ましいのではないのでしょうか。

やはり大学で中国人の友達と話していると、「彼氏ほしい〜」「彼女ほしい〜」といった話になることも多いです。しかし一方で「恋愛も結婚も興味無い」と言っている友達もいます。日本と同様、最近中国でも恋愛に消極的な「草食系」や、むしろ恋愛や結婚をする気がそもそもない「仏系」などと呼ばれる若者が増えているそうです。結婚に関しても、「結婚できない」ではなく、あえて「結

婚しない」という選択をする人が増えてきています。しかし、まだまだそのような選択は社会的に広く受け入れられているわけではなく、親や親せきからの「恋愛・結婚プレッシャー」は存在します。特に中国は、以前一人っ子政策があったこともあり兄弟姉妹が少ない傾向にあるうえ、日本と同じく少子高齢化が急速に進みつつあります。親や祖父母世代の「娘、息子、孫に結婚して、早く子供を持ってほしい」という思いは、日本以上に強いのではないのでしょうか。

このように、中国人の恋愛・結婚事情は日本のそれとは違った部分が多く見られます。しかし最近の若者に見られる恋愛・結婚観の変化など、日本と似通った部分もあるようです。中国でも日本でも、個人が自由に自分の人生における選択を決定する、という現代の潮流を受け、人々の恋愛・結婚の形はますます変化していくのではないのでしょうか。



街を歩いているとホテルの前などでよくみられる結婚式の飾り（写真奥の金色のアーチ）。新郎新婦の名前と、「百年好合（ともに白髪になるまで仲良く暮らす）」という文字が書かれています。赤はめでたいお祝いのときに使われる色で、龍と鳳凰の組み合わせは繁栄や幸運をもたらすとされています。これはめでたい場面でしばしば使われるのですが、昔は皇帝と皇后しか使うことができなかつたそうです。